

ダムからの河川維持流量を利用した 高野（たかの）発電所の建設申入れについて

当社は、低炭素社会実現に向けた取り組みの一環として、広島県庄原市において河川維持流量 ※を利用した高野発電所(出力:140kW)の開発を計画し、本日、同市に対して建設の申入れを行いました。

この度の計画は、神野瀬（かんのせ）発電所(2万kW、広島県三次市)の 高暮（こうぼ）ダムから放流している河川維持流量の放流管に、小規模な発電設備を設置して発電するものです。

河川維持流量を利用する発電所としては、昭和30年に運転開始した湯原えん堤発電所(360kW、岡山県真庭市)に続き、約60年ぶり2箇所目となります。

今後、平成24年4月の着工、同年12月の運転開始を目指して、地元の皆さまおよび関係自治体などのご理解・ご協力をいただきながら、計画を進めてまいります。

当社は、地球温暖化などの環境問題への取り組みを重要課題の一つとして位置付け、引き続き、再生可能エネルギーの更なる利用拡大に取り組んでまいります。

【高野発電所の概要】

発電型式	ダム式(維持流量発電)
最大出力	140kW
最大使用水量	0.53m ³ /s
有効落差	約50m
所在地	広島県庄原市高野町
水系・河川名	江の川水系 神野瀬川
工事期間(予定)	平成24年4月～平成24年12月
年間発電電力量 (見込み)	約100万kWh (一般家庭約300世帯の年間使用電力量に相当)
CO ₂ 削減量	約700t-CO ₂ /年

※ 水力発電に際しては、下流河川の自然環境、水利使用および漁業等に支障を与えないよう必要な流量を優先して放流し、残りの河川流量の中から許可された最大取水量以下で取水しています。この優先放流量を「河川維持流量」といいます。

以上

添付資料

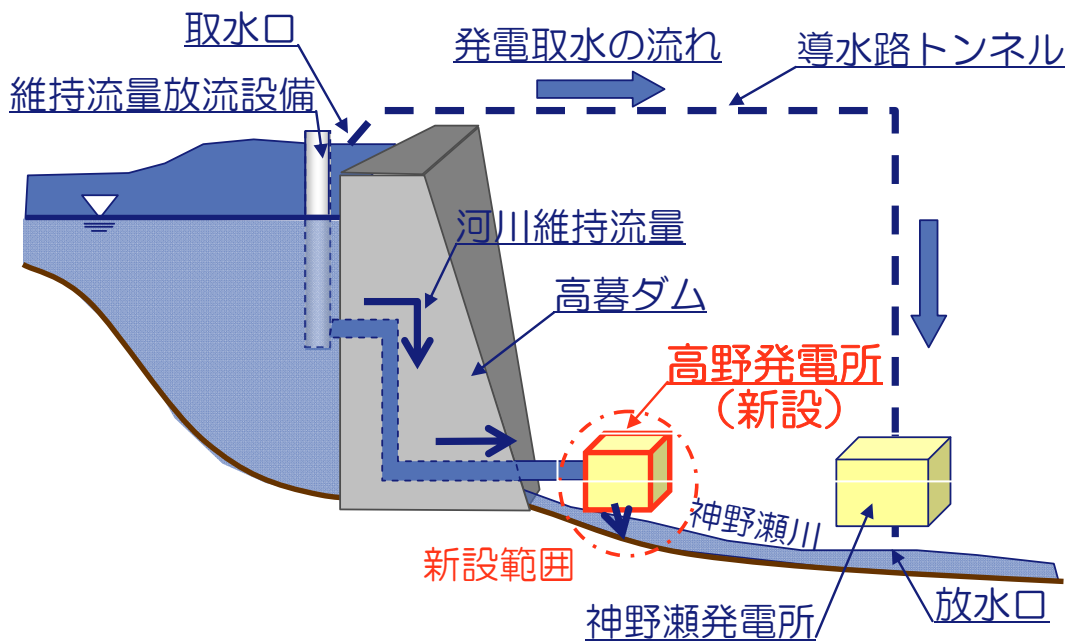
[高野発電所設置イメージ](#)  [PDF:207KB]

たかの
高野発電所設置イメージ図

1. 平面図



2. 断面図



3. 設置イメージ

